

CEC成果発表会「平成21年度『教育の情報化』推進フォーラム」結果報告

CEC成果発表会「平成21年度『教育の情報化』推進フォーラム テーマ：教育現場をICTでより豊かにしよう!! -新学習指導要領の完全実施に向けて-」（主催：財団法人コンピュータ教育開発センター）を3月12日（金）・13日（土）の2日間、東京都江東区青海の東京国際交流館プラザ平成にて開催しました。

当推進フォーラムには、全国から教育関係者、教育関連企業関係者ら、初日700名、2日目600名、延べ1300名の参加を得ました。「教育現場をICTでより豊かにしよう!! -新学習指導要領の完全実施に向けて-」をテーマに据え、多様化するIT環境においてIT活用を日常の教育現場にいかにか活かしていくかについての実践報告や様々な事例を発表し、意見交換を致しました。今回は会場を増やし現場の実践報告や、企業によるIT教材の紹介など情報発信を図り、懇親会を復活させ細やかな意見交換を行ないました。

初日の全体会では、当財団理事長 赤堀侃司の主催者挨拶に続き、文部科学省生涯学習政策局参事官 齋藤晴加様（代理増子則義参事官付情報政策室長）、経済産業省商務情報政策局情報処理振興課長 東條吉朗様（代理平林純一課長補佐）、総務省情報流通行政局情報通信利用促進課長 平林正吉様からご挨拶をいただきました。特別講演は、東京藝術大学 学長宮田亮平様より「ときめきを伝えるとき」をテーマにご講演いただきました。

分科会では、「教員IT利用環境と学校情報セキュリティ推奨仕様(DSS)」、「情報教育（小中学校）21世紀型コミュニケーション力を育てる」、「学校ICT最新情報紹介」、「新学習指導要領に対応した『ICT活用実践』I・II」、「学校ICT最新情報紹介」を実施しました。

2日目の分科会は、「情報教育（高校）教科『情報』の充実に向けて」、「親子のためのネット社会の歩き方セミナー『情報モラル教育にみんなで取り組もう』」、「マイタウンマップ・コンクール『何が変わるか -地域・教師・子どもたちの学びと意欲-」、全体会では、総括パネルディスカッションを当財団法人理事長 赤堀侃司のコーディネートで、「今求められる、子どもから大人までの情報リテラシーと学力」をテーマに実施しました。研究者、教育関係の方々をパネリストにお迎えし議論をいただき、会場からも活発な意見や質問がなされ、参加者の関心の高さが窺えた、盛会のシンポジウムとなりました。最後はマイタウンマップ・コンクール実行委員会と併催の第16回マイタウンマップ・コンクールの表彰式を開き、全国の応募から内閣総理大臣賞をはじめ各大臣賞・団体賞が表彰されました。

併設展示としては、教育関連企業、IT関連企業、団体から計36のグループの出展があり、また主催者ブースとして、CECインフォメーションコーナーを設けました。

(各会場のご紹介)

全体会（開会式）



全体会（基調講演）



分科会(国際会議場)



分科会(メディアホール)



会議室 1



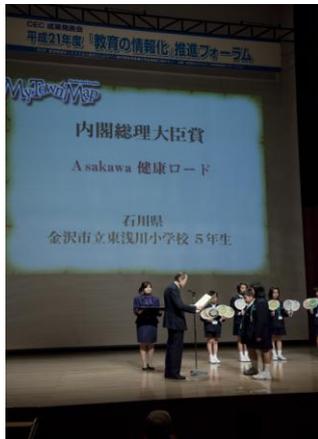
総括パネルディスカッション（国際会議場）



展示コーナー（ホワイエ）



マイタウンマップ・コンクール表彰式



その他

